

目次

I. 令和7年度 総括研究報告書	
指定薬物の指定に係る試験法の妥当性評価に資する研究	----- 1
鈴木 勉 (湘南医療大学 薬学部)	
II. 令和7年度 分担研究報告書	
研究-1 : 幻覚発現物質のマウスを用いた新規試験法の確立	----- 11
鈴木 勉 (湘南医療大学 薬学部)	
研究-2 : 危険ドラッグ誘発幻覚作用の定量と発現機序に関する研究	----- 24
船田正彦 (湘南医療大学 薬学部)	
研究-3 : 幻覚作用を有する薬物の合成	----- 34
栗原正明 (湘南医療大学 薬学部)	
研究-4 : 複合行動指標に基づく乱用予測の妥当性評価 :	
フェニルピペラジン誘導体を用いた検証	----- 38
森 友久 (星薬科大学 薬学部)	
研究-5 : 幻覚発現薬による行動パターン解析 : 再現性と用量反応性	----- 46
北中純一 (兵庫医科大学 薬学部)	
研究-6 : 幻覚発現薬によって活性化する脳領域の同定	----- 51
増川太輝 (横浜市立大学 医学部)	
III. 令和7年度 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 58